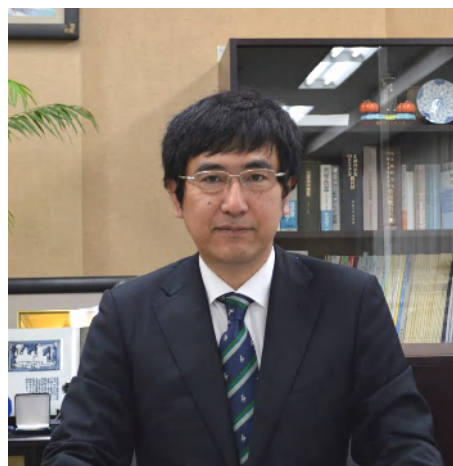


巻頭言

愛媛大学工学部等技術部長
(工学部長) 八尋 秀典

愛媛大学工学部等技術部の平成 28 年度における活動状況を「愛媛大学工学部等技術部活動報告集 Vol.16」として取り纏め、皆様方にお届けいたします。

国立大学法人は平成 28 年度から第三期中期目標・中期計画期間に突入しています。第三期中期目標・中期計画期間では、各国立大学法人が掲げた戦略を基にして飛躍的な発展が求められています。愛媛大学は「輝く個性で地域を動かし世界とつながる大学」を創造することを理念に、地域を牽引し、グローバルな視野で社会に貢献する教育・研究・社会活動を展開するというビジョンを掲げ、①地域の持続的発展を支える人材育成の推進、②地域産業イノベーションを創出する機能の強化、③世界をリードする最先端研究拠点の形成・強化という 3 つの戦略によりこのビジョンを達成しようとして取り組んでいます。戦略①の中には、平成 31 年度に理学部・工学部を中心とした理工系教育研究組織を再編することが記載されています。理工系人材育成には、これからの日本を支える多種多様な高度技術者・研究者の育成を主眼においており、従来の人材育成プログラムを見直し、新しい視点でのプログラムに発展させる必要があります。「高度な技術」は年々進化するものであり、学理を伝える講義だけでは到底教授することができず、実験・実習などの学生参加型の教育が不可欠です。本学の技術系職員は旧来の技術に留まることなく新しい技術の導入を積極的に行っており、学生参加型教育プログラムを通じて、その技術を学生に着実に伝承しています。



工学部等技術部は、実験・実習など学生参加型授業での教育支援、実験機材の作製や物性評価などの先端研究を支える研究支援、オープンキャンパスや科学体験フェスティバル等の学外者を対象にした社会貢献行事への支援等、年間を通じて幅広い活動を実施するとともに、学内技術職員発表会の開催や各種研修会への参加を通じた技術力向上の取り組みなど多彩な活動を積極的に行ってきました。

平成 28 年度の「第 16 回 愛媛大学工学部等技術部技術発表会」では、本技術部の先端的技術の事例の紹介だけでなく、「徳島大学大学院理工学研究部総合技術センターの現状について」と題して徳島大学大学院理工学研究部の副センター長およびものづくり分野長からご講演をいただきました。少しずつではありますが大学間連携も進んでおり、先端技術の幅広い知識の習得や技術の協力体制もできつつあります。また、各専門技術分野の技能・技術職員研修や技術研究会にも積極的に参加し、「技術力の向上」に向けて新たな専門知識、技術等を習得することができました。

最後に、この活動報告集が工学部等技術部の広報活動の起点となり、多くの方々からのご助言を得て、技術部の今後のさらなる発展につながることを期待しております。ぜひご一読いただき、技術部へのご理解とともにご批判ならびにご鞭撻を賜れば幸いです。